



京丹後 峰山の
こんぴら
 さん



竣工
御鎮座二百年祭
準備営繕事業

二百年祭 準備営繕事業 竣工



斎庭（内庭）改修作業



御本殿修復工事
 竣工後の本殿・斎庭



鋳金具補修作業



着工前の本殿・斎庭

竣工した準備事業

- 本殿御屋根銅版の葺替え
- 拝殿御屋根銅版の葺替え
- 本殿及び拝殿の改修営繕
- 神門の再塗装
- 石段手摺の新設
- 社務所受付事務室増改築
- 境内及び山内整備
- 境内参道石畳敷設

奉納御礼

- 一、参道敷設石畳 石材一式 平井雄一様
- 一、特別寄贈金 日進製作所様
- 山寅組様
- 峰山商業開発組様
- タンゴ技研様
- 大宮日進様
- 森建設様
- 富久亭様
- 吉翠苑様
- 一、台風災害見舞金 日進製作所様

平成23年 御鎮座二百年祭

金 金刀比羅神社

京丹後市峰山町泉1165-2
 電話 0772-62-0225
 FAX 0772-62-5993
 メール info@konpirasan.com

ホームページ 公開中
<http://www.konpirasan.com>

かねて「馬酔木会」ご同様より奉納寄託を賜っておりましたが、参道石畳敷設工事に併せ、石段下賽銭箱を石造りに更新し、これの新調費用に充当させて頂きました。



御鎮座二百年祭 準備事業 竣功

去る平成十三年、御鎮座二百年まで十年といふ員長を始め委員全員が遺志を引き継ぎ、う年に、記念事業準備委員会が発足され、準備更に目標達成へ邁進された結果、今日事業準備事業を執行してりましたが、この度、計業竣功の日の目を見ることが出来ました。画分の境内整備事業が竣功致しました。



石畳敷設の完了した参道

当面急を要 特に本年は、本御殿の御屋根葺替えをする修復を中心にして大規模整備を行い、五月には始めとした大規模整備を行い、五月には仮殿遷座祭、九月には本殿遷座祭並奉幣祭を挙行し無事執り納めることが出来ました。

現在も奉賛活動は継続していただいておりますが、向後は、来る平成二十三年



着工前の参道

人をはじめ皆様方から多額のご奉賛を賜りました。途中尾瀬亮式委員長が志し半ばで逝去去される不幸がございましたが、後任の藤田兵一郎委

如何に行うべきかを諮り、本事業を引き継ぐ形で準備委員会から奉賛会へと移行し、いよいよ本格的に大祭の執行を担っていただく計画となつてお



山内遊歩道整備工事

台風二十三号の傷跡



十月二十日、主に北近畿に甚大な被害をもたらした「台風二十三号」は、当社にも相当の傷跡を残してしまいました。

拝殿御扉が吹き飛ばされ破壊したのを始め、絵馬舎の壁が一部剥脱、末社粟島社の御屋根銅板の破損と、境内山内の倒傾折樹木は数十本を数えます。

二百年準備事業で危険木を伐採していたことが幸いし、建物等への重大事は避けられますが、拝殿御扉は檜材一枚板四枚という部材から成りますので、新調費に数百万程度が見込まれ、総ての被害額は一千万に上ります。

平成十七年
年頭行事のご案内
こんぴらさんの

初詣

大晦日より終夜参拝
元日 御神酒 授与
正月縁起物多数

一月十四日 午前七時
焼納祭(どんど焼)

二月六日(日) 十一時

節分 還暦初老祈願祭

例年節分日に行っておりますが、節分祈願祭を第一日曜に執行します。ご参列希望の方は、地域にかかわらずお申し込み下さいませ。

新年祈願 承り中

家内安全 心身健勝
商売繁盛 会社隆昌
男女厄年 開運厄除
合格祈願 学業成就
海上安全 大漁満足

平成17年の厄年

昭和62年生 25歳 女子厄年
昭和56年生 19歳 女子
昭和48年生 33歳 女子大厄
昭和44年生 37歳 男女
昭和39年生 42歳 大厄 初老
昭和20年生 61歳 還暦

この度の台風被害は当地方では歴史上も類い稀なるものでした。日頃現代文明での生活に、ともすれば忘れてしまいがちな自然の脅威。はからずも「畏敬」ということの意義を痛感する機会となりました。

被害に遭われました方々へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早いご復興を、ご祈念申し上げます。

さて、暮れも押し迫り皆様にも勤しくお過ごしのことと存じます。皆様のお力添えによりまして、新米宮司も如何様にか初年を過ごすことが出来ました。

本年中に賜りましたご芳情に厚く御礼申し上げますとともに、どうか新年も一層のご指導を、そして変わらぬご崇敬の念をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

また、先の安泰祈願祭において「神札」と「神酒」をお頒ちさせていただきましたので、新年の装いを整えられたご家庭に神宮大麻共々お祀り下さいませ。すようお勧め申し上げます。

宮司 拝